

第27回

世界に誇る 豊かな自然溢れる 秘境

随分前になるが写真家岡本洋典さんの「雨竜沼湿原」の自然ガイド本に、動植物の挿絵を描かせていただいた。この仕事のおかげで自然の多様性に富んだ雨竜沼湿原のことを初めて知った。ちょうどラムサール条約に登録になった翌年に発行された本だ。雨竜沼湿原は貴重な山岳湿原であり、この湿原自体が北海道の天然記念物に指定されている。また、暑寒別天売焼尻国定公園内でもあり、北海道遺産にも選ばれている。

本の挿絵は四季それぞれに咲く野草を約160点、そこにあらわれる動物や昆虫も合わせると約200点、描いたでしょうか？本にはとても小さく掲載されているが、いろんな動植物を描くのがとても楽しくて、描き終わる頃には行ったこともないのに、とても知っている場所になった。きっとこの本の挿絵を描かなければ「秘境」と呼ばれる雨竜沼湿原がどんなところなのか知らないままだったかもしれない。描きながら秘境たる所以のその自然の奥深さに感動し、いつか湿原を歩きながら、その風景と花をスケッチしたいと思った。

本の出版後、岡本さんの講演会に招かれ、雨竜の道の駅で開かれた写真展に出かけた。四季折々、岡本さんが長年撮り続けている雨竜沼湿原の写真からは自然のもつ美しさと偉大さを感じた。そして、その時に道の駅で食べた蒲鉾が美味しかったことも思い出した。

雨竜沼湿原を歩く夢はまだ実現していないけれど、やっぱりいつか自分の目でこの秘境を見に行きたい。そして、道の駅内にある雨竜沼自然館で岡本さんの写真を見て、蒲鉾も食べたい。それには足腰を鍛えなくてはと、机仕事で丸まった背中を伸ばすのであった。



すずき もも

イラストレーター・絵本作家/スローフードさっぽろリーダー

東京生まれ、北海道夕張育ち。広告や雑誌、カレンダーなどのイラストを描くほか、イラストで綴る町案内の本や絵本などを執筆。ほか、「スローフードさっぽろ」を2016年に立ち上げ、食を中心に環境や暮らしの大事に取り組んでいる。著書に絵本「はるとなつ はたけのごちそうなーんだ？」(アリス館)「おいしい大地、北海道」(イースト・プレス)がある。近著に絵本「はたけのごちそうなーんだ？ くだもの」(アリス館)がある。モットーは4つのS。「Simple, Slow, Small, Smile: ささやかに、ゆっくり、ほどほどに、にこにここと」。



両竜沼湿原に入るのは
 6月上旬～10月上旬です*

トリック
 はだはNG
 なので
 ポロは
 おろすはん

『うまい！うりやう*』
 なまのほしほ
 やめたいかがいあるよ！

とってもおいしいの
 青肉のXロン！
 『暑暑Xロン』

『鈴木かまぼこ』
 のかまぼこ
 さん、ほたて etc...
 いろいろ味がある

両竜沼
 湿原に行く
 ときには
 ぜひおちこ
 ちの
 『道の駅 田園の甲』
 へお立ち寄りください

かまぼこ
 さん、ほたて